

令和7年6月発行 No.74



いわくに市議会だより

シー

See議会

12月

3月

令和7年
第1回
定例会

9月

6月



「旋盤作業」

作者：岩国工業高等学校 写真部

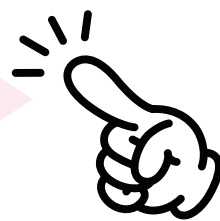
16ページで写真部の撮影風景を紹介！

目次（主な内容）

- ▶ 定例会ハイライト 2
- ▶ 委員会審査報告 4
- ▶ 議案と審議結果 6

- ▶ 議員提出議案 8
- ▶ 市政を聞く（一般質問） 9
- ▶ 視察報告 15
- ▶ 表紙作品の紹介＆学校紹介 16

3月 定例会 ハイライト



● 令和7年度一般会計予算などの議案等77件を可決

【3月定例会の日程】

3月定例会は、2月19日に招集され、3月21日までの31日間の会期で開催されました。

定例会の初日には、議案等23件を議決しました。

一般質問は、3月3日から5日までの3日間で、18人の議員が登壇して行いました。

各常任委員会は11日から14日までの4日間で開かれました。

最終日には、議案等54件を原案どおり可決し、閉会しました。

月 日	内 容
2月 19日	本会議初日
3月 3日	一般質問
3月 4日	一般質問
3月 5日	一般質問
3月 11日	経済常任委員会
3月 12日	教育民生常任委員会
3月 13日	建設常任委員会
3月 14日	総務常任委員会
3月 21日	本会議最終日

● 予算規模824億円の一般会計当初予算を可決（前年度比14億円増）

合併20周年記念事業

●合併20周年記念式典開催関係費

予算額 555万円

令和7年度で合併20年となり、大きな節目の年を迎えることから、それを記念した式典を開催。



合併10周年記念式典の様子

1

●ユースカルチャー創造発信事業

予算額 5,500万円

合併20周年を記念し、「東京ガールズコレクション」を企画・運営する企業と連携して、若者向けの市民参加型イベントを愛宕山ふくろう公園で開催。



イベントイメージ



議場に心が和む「生け花」

3月定例会の一般質問の間、「華道家元池坊岩国支部」の方々に生け花を展示していただきました。

岩国市・宜野湾市姉妹都市提携事業

予算額 394万4,000円

宜野湾市との姉妹都市提携を記念して、相互訪問や記念事業を実施。

2



琉球舞踊

中央公民館整備事業

予算額 12億9,840万7,000円

老朽化した中央公民館の建て替えのため、令和6年度～令和7年度に建設工事を実施。

3



中央公民館イメージ

新岩国駅前広場改修事業

予算額 4億730万5,000円

新岩国駅前広場を改修し、導線の整備と交通結節点としての機能強化を図るため、令和7年度に改修工事を実施。

4



経済

議案第1号

令和6年度岩国市一般会計補正予算(第7号)等7件

提案された令和6年度一般会計補正予算をはじめ、令和7年度一般会計予算や指定管理者の指定に係る議案の審査を行った。



本市の経済活性化のため、引き続き積極的な取組を求める

問

周東勤労青少年ホームほか管理費の予算の増額理由を問う。

答

I&A共同事業体が指定管理を行う周東勤労青少年ホーム、周東体育センター、サン・ビレッジ周東の3施設における、電気料金の高騰に対応するための補正予算で、全ての指定管理者に対し、電気料金の状況等を確認した上で、不足が生じている指定管理者に対して指定管理料を増額している。

問

店舗魅力向上リニューアル事業について、令和7年度の制度設計はどのように

考えているのか。

答

経済常任委員会や岩国市中小企業等振興審議会などの意見を踏まえ、令和7年度からは、利用後3年間を経過すれば、2回目の利用ができるよう見直して、事業を実施していきたい。



教育民生

議案第6号

令和7年度岩国市一般会計予算

提案された予算のうち、民生費の市内の民間保育施設等に新たに就職する常勤の保育士に対する給付金を支給する経費(新規保育士等確保支援給付金支給事業)をはじめ、衛生費や教育費などの審査を行った。



市内の民間保育施設間を転職した新規保育士も支援すべき！

問

担い手不足である保育士を支援するための「新規保育士等確保支援給付金支給事業」は、市内の民間保育施設等に新たに就職する常勤の保育士に対し、3年以上勤務することを条件に30万円を給付する事業との説明であるが、市内の民間保育施設から市内の別の民間保育施設に転職し、通算で3年以上勤務した場合は、給付対象となるか。

答

現時点では、同じ法人の施設間での異動である場合に限り、勤務の継続とみなすことを予定している。

問

運営主体が異なる法人間の転職の場合でも、市内において継続して勤務するのであれば、市内で勤務する保育士であることに変わりはないことから、給付金の支給による支援が必要ではないか。

答

新規事業なので、給付の詳細はこれから定めることになり、御指摘を踏まえ、改めて検討していきたい。



常任委員会では、付託された議案などの審査を行い、その経過及び結果を本会議で報告します。本ページでは、審査報告のうち、特に市民の皆様にお伝えしたい審査の経過を抜粋して御紹介します。

建設

議案第6号 令和7年度岩国市一般会計予算



提案された予算のうち、土木費の昭和町藤生線改良事業をはじめ、衛生費の審査を行った。

米軍提供区域の返還にこだわらず、昭和町藤生線の早期完成を！

問 昭和町藤生線改良事業に関し、事業開始から十数年たっているが、基地内の測量調査も着手できていない。返還を要請した米軍提供区域については、どのような状況となっているのか。

答 当該米軍提供区域については、現在、共同使用という形で防衛省と在日米軍司令部間で調整中である。現時点では共同使用の時期についてのめどが立っていないが、防衛省としては引き続き、早期に測量等の調査が実施できるよう、今後

も米側と協議を継続すると伺っている。

問 当初要請を行った米軍提供区域の返還にはこだわらず、昭和町藤生線の早期完成が岩国市にとって重要である。米軍提供区域のうち、道路部分だけの使用を提案するなど、米側と交渉はできないのか。

答 市としては引き続き、交渉の窓口となる防衛省や外務省に粘り強く要請していきたい。

総務

議案第6号 令和7年度岩国市一般会計予算



提案された予算のうち、総務費の全国的なイベントの開催に係る全国鉄道資源活性化サミット実行委員会負担金をはじめ、議会費、民生費、消費費及び教育費などの審査を行った。

全国鉄道資源活性化サミットを機会に錦川清流線の利用促進を！

問 全国鉄道資源活性化サミットの事業内容について問う。

答 本サミットは全国各地に残る未成線・廃線のような鉄道資源を観光資源として活用したり、新しい産業を創出するなど、地域の活性化につなげることを目的として開催するものである。第5回目となる令和7年度は、本市において、10月4日・5日の2日間の開催を予定しており、岩日北線記念公園を中心に、とこととトレインや錦川清流線を全国にアピールする絶好の機会と捉えている。

要望 錦川清流線にとっては、令和7年度は、全国的なサミットを錦町で開催するだけでなく、合併20周年記念事業の一環として錦川清流線利用促進支援事業が実施される節目の年になる。この事業は、錦川清流線の乗車を無料にする日を設けるものだが、錦川清流線を全国にも市民にも積極的にPRするため、合併20周年の記念事業と全国サミットとを組み合わせることで相乗効果を図ることを提案する。様々な工夫を凝らして、この機会をぜひとも錦川清流線の利用促進につなげていただきたい。

議案と審議結果

【全会一致で可決した議案等】

▼報告

令和6年度岩国市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について

▼諮問

人権擁護委員の推薦について(3件)

▼議案

令和6年度岩国市一般会計補正予算(第7号)

令和6年度岩国市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)

令和6年度岩国市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

令和6年度岩国市介護保険特別会計補正予算(第4号)

令和6年度岩国市病院事業会計補正予算(第2号)

令和7年度岩国市土地取得事業特別会計予算

令和7年度岩国市後期高齢者医療特別会計予算

令和7年度岩国市国民健康保険特別会計予算

令和7年度岩国市介護保険特別会計予算

令和7年度岩国市周東食肉センター事業特別会計予算

令和7年度岩国市観光施設運営事業特別会計予算

令和7年度錦帯橋管理特別会計予算

令和7年度岩国市市場事業特別会計予算

令和7年度岩国市駐車場事業特別会計予算

令和7年度岩国市水道事業会計予算

令和7年度岩国市工業用水道事業会計予算

令和7年度岩国市病院事業会計予算

令和7年度岩国市下水道事業会計予算

令和7年度岩国市簡易水道事業会計予算

岩国市農業委員会の委員の任命につき、議会の同意を得るについて(19件)

岩国市いこいと学びの交流テラス運営基金条例

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

岩国市情報公開・個人情報保護審査会条例等の一部を改正する条例

岩国市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び岩国市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

岩国市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例

岩国市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

岩国市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

- 岩国市立学校屋外運動場夜間照明施設使用料条例の一部を改正する条例
- 岩国市保育園条例の一部を改正する条例
- 岩国市へき地保育園条例の一部を改正する条例
- 岩国市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 岩国市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 岩国市手数料条例の一部を改正する条例
- 岩国市企業職員の給与等の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例
- 横山ポンプ場土木施設整備工事請負契約の締結について
- 指定管理者の指定について【岩国市海土路供用会館】
- 指定管理者の指定について【学習等供用会館等26施設】
- 指定管理者の指定について【集会所14施設】
- 指定管理者の指定について【周東食肉流通センター】
- 指定管理者の指定について【高森南共同畜舎】
- 指定管理者の指定について【北中山交流館ほか3施設】
- 山口県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び共同処理する事務の構成団体の変更並びにこれに伴う規約の変更について
- 市道路線の認定について
- 市道路線の変更について
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
- 岩国市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 岩国市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び岩国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 岩国市国民健康保険条例の一部を改正する条例

▼議員提出議案

- 岩国市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例
- 岩国市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例
- 訪問介護の基本報酬引下げの早急な見直し等を求める意見書

【賛否が分かれた議案等】

※議決結果 ○＝可決、認定、承認、同意、採択 ×＝否決、不認定、不承認、不同意、不採択
※議員の賛否 ○＝賛成 ×＝反対 退＝退席（採決時不在） 欠＝欠席（終日不在）
※議長（片岡勝則）は表決に加わりません。ただし、特別多数議決の場合は、表決に加わります。
※会派名の略称は次のとおり 共産党＝日本共産党市議団、市政改革＝市政改革クラブ、
リベ＝リベラル岩国、声＝市民の声をさく会、日本国民党岩国＝国、市＝市民クラブ、草＝市民ファースト草の根

件名	議決結果	憲政会					志政いわくに			公明党議員団		共産党		市政改革		同志会	リベ	声	国	市	草							
		片岡勝則	貴船 斉	桑原敏幸	瀬村尚央	武田伊佐雄	松川卓司	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	奥江徳成	桑田勝弘	中村 豊	野本真由美	小川安士	長岡辰久	松田一志	川口隆之	広中 信夫	細見正行	石原 真	山本辰哉	姫野敦子	中村恒友	石本 崇	重岡邦昭	広中英明
令和7年度岩国市一般会計予算	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国市診療所条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案を提出

岩国市議会議員の議員報酬、費用弁償及び 期末手当に関する条例の一部を改正する条例を可決



〔提案者〕 志政いわくに 藤本 泰也

国家公務員等の旅費制度の見直しを受け、市においても旅費制度の見直しを行うことに伴い、本市議会における条例の規定の整備を行うものです。

主な改正内容としては、国の見直しに合わせて、本市職員の場合と同様、旅費を原則として実費支給方式に変更する改正のほか、現行の宿泊料について、名称を宿泊費

に変更し、定額支給方式から、地域の実情や旅行者の職務が勘案された上限が設けられた実費支給方式に変更します。

また、現行の日当について、名称を宿泊手当に変更し、宿泊を伴う旅行に必要な経費として、1回の宿泊につき2,400円を定額支給するものです。

岩国市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例を可決



〔提案者〕 公明党議員団 桑田 勝弘

「情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律」及び「刑法等の一部を改正する法律」等の施行等に伴い、規定の整備を行うものです。

主な改正内容としては、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に伴い、条例にお

ける法律の引用条項の改正を行うものです。

また、「刑法等の一部を改正する法律」等により、懲役及び禁錮が廃止され、これらに代えて拘禁刑が創設されることに伴い、条例規定中の「懲役」を「拘禁刑」に改めるとともに、本条例の施行前にした行為の処罰や拘禁刑に処せられた者に係る人の資格等に関する経過措置について定めるものです。

訪問介護の基本報酬引下げの早急な見直し等を求める意見書を可決



〔提案者〕 憲政会 武田 伊佐雄

政府は、令和6年度介護報酬の改定に当たり、訪問介護の処遇改善加算について高い加算率に設定したとする一方、訪問介護の基本報酬を引き下げました。これにより、中山間地が多く、小規模事業所や移動時間のかかる事業者が多い本市などにおいては、介護事業所の閉鎖や小規模事業者の倒産に拍車がかかり、訪問介護サービスが受けられなくなる要介護者や介護離職が増加するおそれがあるなど、将来的には地域包括ケアシステムが崩壊し、介護保険制度による「介護の社会化」に逆行する事態が起きかねません。よって、国において、下記の事

項について特段の措置を速やかに講ずるよう強く要請します。

記

- 1 在宅介護の基盤を存続させるため、3年の改定期間を待たず早急に訪問介護の基本報酬引上げを行うこと。
- 2 訪問介護事業所の経営難の原因の一つになっている人手不足を解消するため、介護従事者のさらなる処遇改善を行うこと。
- 3 中山間地域の訪問介護事業者に対するさらなる支援策を講じること。

代表質問

※会派（構成員3人以上）を代表して行う質問のこと



憲政会

武田伊佐雄 議員



が、今後、さらなる機能の縮小は行わないことを確認しておきたいがどうか。

答 玖北地域には、錦中央病院、美和病院、本郷診療所の3つの岩国市立の医療施設があり、令和6年度

錦中央病院の医療機能は今後も維持していく

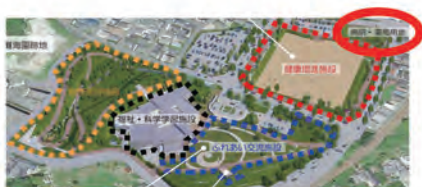
問 錦中央病院は医師の確保が難しいため、来年度から、できるだけ現在の医療機能に近い形で有床診療所に転換するとの説明だが、

からは美和病院の副院長が錦中央病院の病院長代理として兼務することで、病院運営に必要な医師3人体制を確保し、運営を続けている状況にある。今回の医療機能の変更は、限られた医師の数で医療提供体制を維持するためであり、医師の過度な負担を軽減することができる運営体制にするためのものである。医師等の逼迫した診療状況を改善することで、今までよりは医師などの医療スタッフが確保しやすい環境になると思われることから、今後も医師確保に努め、当面の間、医療機能は維持・継続できると考えている。

新規病院・医院の誘致制度について

問 本市に企業を誘致するため、事業所設置奨励金や雇用奨励金等があるが、この制度は病院・医院にも適用されるのか。また、本市で病院・医院を開業する場合や、事業承継する場合、どのような支援を実施しているのか。

答 現行制度は、病院・医院は対象外で適用されない。よって、本市で



独立行政法人国立病院機構岩国医療センターの跡地対策について

は医療施設の開業・事業承継について、誘致策や支援策はない。しかし、不足する診療科に対する誘致策を準備する他の自治体も



志政いわくに

矢野匡亮 議員



あることから、本市においても、出産可能な医療施設の減少や開業医の高齢化などの課題に対し、医療施設の誘致について調査研究をしていきたい。



公明党議員団

桑田勝弘 議員



歴史的建造物が失われつつある。この協定に基づき、地域住民と協働し、観光資源として保存、活用することにより、錦帯橋等への観光客が、江戸期の風情が残る城下町内を散策し、改修された歴史的建造物の魅力を楽しむこと

歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進

問 昨年5月に「歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進に関する連携協定」を締結した。事業計画やスキームを問う。

答 岩国城下町では、

で、滞在時間の延長、地域のにぎわいの創出につなげていくとともに、錦帯橋の世界遺産登録推進に向けた機運の醸成を図っていきたい。来年度から建造物の保存、活用を効率的に進めるため、歴史的建造物利活用促進事業として、空き家のマッチング体制の構築に取り組む。今後のスキームのイメージは、民間主体のまちづくり会社等をつくり、候補物件の所有者との間で、建物の賃貸や売買、市の一部補助等の資金調達を活用する改修工事、その他支援を活用する仕組みづくりを行うなど、継続的に事業推進できる体制の構築を検討している。



日本共産党市議員
小川安士 議員



国に抜本的な医師増員を強く求めるべきだ

問 政府は医師の分布に偏りがあるというが、そもそも日本の人口1万人当たり医師数は、OECD平均の7割で、完全な医師不足、深刻な過重労働のはず。本市の労働実態はいかがか。

答 院長等管理職の労働時間は把握していない。

問 地元説明会では「医師不足を行政の手で解決してほしいのが、住民の本音だ」などの声が出たようだが、せめて諸外国の常識水準までは増やさないと、

本市で医師を確保することは難しいのではないか。

答 医師に魅力的な地域にして確保したい。玖北地域の医療・保健・福祉・介護の多職種で連携し、若手医師育成や交流を図りたい。

問 最近のOECDの人口1万人当たり平均医師数は約36人で、岩国医療圏は約20人、最下位のトルコとほぼ同じ水準。医師の絶対量が不足していることは明らかだが、国にはどのように拡充を求めてきたのか。

答 医師の確保については、全国市長会や全国自治体病院協議会で国に要望を行っている。

授かった子を安心して産める環境を！

問 公立の助産所の運営も一つの在り方と思うが、本市の分娩施設についての考えを聞く。

答 議員御提案の助産所の設置等についても、対策の一つになると思われるので検討する。

問 助産師を養成する大学等に進学する学生に対する本市独自の奨学金制度の新設は可能か。

答 助産師の育成は必要なことと認識しているので調査研究していく。また、調査研究期間は令和11年度までの予定。

問 妊産婦アクセス支援事業の令和6年度実績について問う。また、令和7年度の昨年度との違い

について問う。

答 令和6年度2月末の時点で申請は1件。令和6年度と違う点は、条件付ではあるが、妊婦健診の際にも上限14回まで助成できる。

▶ その他の質問

- ・放課後児童教室の「岩国市放課後児童健全育成事業費補助金」について
- ・本市におけるメディアリテラシー教育について



市政改革クラブ
川口隆之 議員



一般質問

※議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くこと



公明党議員団
中村 豊 議員



重症心身障害児の支援について

問 重症心身障害児が在宅生活する場合、保護者・家族はほぼ24時間の介護を毎日行うこととなり、慢性的な寝不足や疲労

の蓄積、命を預かることへの緊張感によって、心身の負担感は大変大きなものとなる。家族の負担軽減となるレスパイトについて、市の考えを問う。

答 家族の負担軽減を図るため、在宅レスパイ

ト事業について、先行実施している自治体の事例を参考とし、制度設計や実施体制の整備を進め、訪問看護事業所との連携も深めながら、早期の事業化ができるよう現在検討を進めている。また、ショートステイについては、その必要性は十分認識している。現在、本市には医療型入所施設の機能を有した病院がないことから、今後、ショートステイの利用が可能となるよう関係機関に働きかけを行い、協議を進めていきたいと考えている。



市民の声をきく会
中村恒友 議員



水道カルテ・耐震化等、現状と対策について

問 令和6年12月20日厚生労働省発表の水道カルテでは、本市水道事業は赤字経営で耐震化対策も全国平均値を下回っているが、健全経営対策について問う。

答 この水道カルテは令和4年度決算により作成されており、令和5年7月の水道料金改定に伴い経営改善し、赤字を解消している。これにより、老朽化・耐震化対策、とりわけ錦見浄水場では、現

在、防衛省の補助を受け、取水隧道の耐震管推進工事に着手している。今後については、第5次水道施設耐震化10ヵ年計画に基づき、安心・安全、安定的な水道水の供給に努めていく。

▶ その他の質問

・いこいと学びの交流テラス施設内にも子ども食堂活動のできるエリアの確保を！



荒廃農地の再生補助金について

問 農家の高齢化などで耕作放棄地、荒廃農地が年々増加している。そこがイノシシ等のすみかになり、作物が荒らされる原因にもなっている。県内他市には、そうした荒廃農地を再生する補助制度があるが、本市でも荒廃農地の再生補助金制度が実施できないか。



答 他市では荒廃農

地を再生するに当たっての支援策を有している自治体があることは承知している。荒廃農地を再生するには多大な労力が必要であり、場合によっては機械が必要となり、農業者の大きな負担となることも認識している。議員御提言の荒廃農地の再生補助金制度について、既に制度を有している他市の利用状況等を調査し、検討していきたい。



志政いわくに
藤本泰也 議員



公明党議員団
奥江徳成 議員



脱炭素社会に向けた取組について

問 脱炭素社会に向けた意識の一層の向上のためゼロカーボンシティ宣言をするべきと考えるが、ゼロカーボンシティ宣言に

対する市の見解を問う。

答 昨年12月時点において、全国で1,127の自治体が宣言を行っており、本市においては、ゼロカーボンシティ宣言は行っていないものの、脱炭素社会の実現に向けて、様々な施策を実施すると

もに、市民や企業の皆様への普及啓発についても継続して実施してきた。市としては、今後の脱炭素社会の実現に向けた取組を、より一層加速化していくため、ゼロカーボンシティ宣言について、来年度早々の表明に向けて準備を進めていく。





同志会

石原 真 議員



上関町中間貯蔵施設計画が着々と進んでおり、周辺地域住民から不安の声が広がっている。岩国市においても半径30キロメートルの範囲には由宇町、周東町の一部が、半径50キロメートルでは玖北地域の一部を除き市内全域が入っており、有事の際には市民の安全が脅かされる可能性がある。核燃料サイクルの見通しが立っていないことや、今後30年以内に80%の発生確率

上関町中間貯蔵施設計画への対応は

問 上関町の中間貯蔵施設計画が着々と進んでおり、周辺地域住民から不安の声が広がっている。岩国市においても半径30キロメートルの範囲には由宇町、周東町の一部が、半径50キロメートルでは玖北地域の一部を除き市内全域が入っており、有事の際には市民の安全が脅かされる可能性がある。核燃料サイクルの見通しが立っていないことや、今後30年以内に80%の発生確率

と予想されている南海トラフ地震の影響などを含め、国や中国電力に責任ある説明を求めていくべきでないか。また、その結果を市民に公表すべきではないか。

答 周辺自治体には、いろいろな懸念があることは承知しており、岩国市においても同様だと考える。核燃料サイクルの見通しがなく、使用済み核燃料はたまり続けており、最終的にどこへ行くのかという懸念を我々も持っている。こうしたことも含め、国や中国電力に責任ある説明を求めていくべきと考えており、その内容を市民に説明していく。

米兵犯罪、岩国二丁目の駐車場建設等

問 2月11日に米兵による「飲酒運転」「自動車窃盗」等の犯罪が再度発生したが、再発防止策と被害者救済はどうなっているか。

答 被害者の方に寄り添って迅速に対応する。

問 岩国二丁目に建設する予定の駐車場について、事業計画について説明を求める。

答 2階建て3層の立体駐車場を検討している。一般車両160台程度が駐車可能。岩国四丁目の駐車場は平面駐車場として観光バス17台が駐車可能と見込んでいる。

問 中学校の社会科歴史的分野は、育鵬社の教科

書を採用しているが、どれぐらいの中学校で使用しているのか。

答 県内では来年度19市町中2市町及び県立中学校で採用している。全国での数は把握していない。

問 岩国医療圏の現状の説明を求める。

答 令和4年度現在、病院2,216床、診療所64床で、平成28年度比で病院131床、診療所85床の減少となっている。



日本共産党市議団
松田一志 議員



リベラル岩国

姫野敦子 議員



なるのは、医療体制で、医師の高齢化やスタッフ不足の対策として、人材育成や確保が喫緊の課題。また、中核的医療施設の選択肢も少ない本市での各施設の連携、拡充のための対策について問う。

答 県内での人口10万人当たりの従事者数も

岩国の医療体制の充実について

問 今回、若い世代に選ばれるまちづくり、中学校の部活動の地域移行、市民サービスの改善・充実などを取り上げた。一番気になるのは、医療体制で、医師の高齢化やスタッフ不足の対策として、人材育成や確保が喫緊の課題。また、中核的医療施設の選択肢も少ない本市での各施設の連携、拡充のための対策について問う。

下回っており、市として地域で安心して暮らせる医療環境の確立を図るために、医師・看護師等医療スタッフを継続的に確保・育成する施策を講じている。研修医の受入れ促進や研修支援、看護師の確保支援、定住のための修学資金貸付事業なども実施。医師会等関係機関との協議・検討を重ねる。病院施設の連携も地域内の医療機関が協力し、必要とする医療サービスを円滑に受けられるよう取り組む。また、病状等の情報共有や治療に必要な環境に応じた紹介や転院により、医療の質が向上し、バランスの取れた医療機能の充実に努力する。



市民ファースト草の根
広中英明 議員



錦中央医院の取組について伺う

問 錦中央病院が4月に診療所になるタイミングで、在宅医療に関する事業を行うとあるが、地元の介護保険事業所と利用者の取合いになるのではないかと心配した声がある。介護報酬の改定で経営が圧迫された介護保険事業所が行っていたヘルパーサービスを中止されたが、介護保険サービスが縮小されると、結果的に利用している高齢者が困ることになる。錦中央医

院が行う医療サービスと介護保険サービスのすみ分けは考えられているのか伺う。

答 今後、錦中央医院において、在宅医療に関する事業を行うに当たっては、事業者と重複するところもあると考えられるが、現在、事業者で行われているサービスについては、事業者で引き続き行ってもらい、事業者ができない、または難しいサービスについて取り組んでいく。いずれにしても、経営を圧迫することがないように協議を行い、両立して地域の皆さんが安心して暮らせるように取り組む。

庁舎窓口に軟骨伝導イヤホン導入を！

問 高齢者や耳の聞こえに不安のある方のため、相談窓口に軟骨伝導イヤホンを導入してはどうか。

答 軟骨伝導イヤホンは、大きな声を出すことなく会話でき、音漏れの心配もなくプライバシーを保護できることから、令和7年度予算案に費用を計上している。導入後はしっかりと周知していく。



▶ その他の質問

- ・学校体育館の空調設備の整備について
- ・小・中学校の校舎や体育館のトイレの洋式化の現状と今後について
- ・学校プールの現状と今後について
- ・書かない窓口「ゆびナビぷらす」の効果について
- ・産後ケア事業の拡充内容の詳細について



公明党議員団
野本真由美 議員



憲政会
瀬村尚央 議員



岩国市合併20周年記念事業について

問 ユースカルチャー創造発信事業の概要について伺う。

答 合併20周年を記念し、東京ガールズコレクションを企画・運営する企業と連携して、若者向けの市民参加型イベントを開催することで、本市の魅力を市内外に発信する狙いがある。

問 場所や参加料についてどう考えているのか。

答 場所は愛宕山ふくろう公園を想定し、無料開

放する。大きなファッションショーではなく、あくまで当該企業のノウハウと地元若者の融合を軸としたイベントを考えている。

問 市内の若者は日米交流を求めている傾向があるため、アメリカを巻き込んだりしないのか。

答 岩国の特色でもある米軍基地とも連携可能なら、ぜひ前向きに検討したい。





日本共産党市議団
長岡辰久 議員



強くなっている。放課後児童教室の昼食提供の方法について、総合的に検討している。

問 訪問介護の報酬引下げで、事業所が閉鎖・困窮している。先進地に倣い具体的支援を。また、慢性的な人材不足の対策は。

長期休業中の放課後児童教室に昼食提供を

問 こども家庭庁の調査でも43%が昼食提供している。子育て支援のため、本市でも提供できないのか。

答 保護者の要望は

答 非営利の社会福祉法人に、燃料費の支援を片道10キロメートル以上、20キロメートル未満で1回当たり1,790円、20キロメートル以上は倍額支援する。人材確保の新規就労支援として、介護福祉士や介護支援専門員に各10万円、介護職員に5万円を支給している。

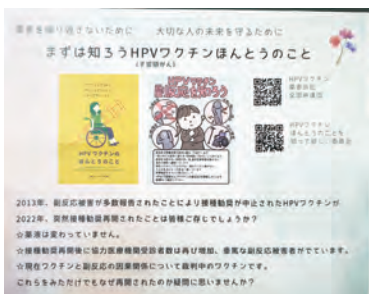
問 123億円でいこいと学びの交流テラスを建造し、維持管理費は初年度1.5億円。脱炭素化と将来負担の軽減について、どのように考えているか。

答 温浴施設は省電力で高効率な給湯器を採用し、使用電力の軽減に努める。維持管理費は愛宕スポーツ施設同様に増える可能性がある。

子宮頸がんワクチン薬害訴訟について

問 現在、子宮頸がんワクチンと副反応の因果関係について、裁判中であることについて、定期予防接種の実施主体である市は、どう考えているのか。

答 子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス感染を防ぐワクチンを接種し、健康被害を受けたとして、現在も全国各地で被接種者の方が国や製薬会社に対して損害賠償



請求訴訟を提訴していることは承知している。多くの方が健康被害を訴え、このような状況になっていることについて、大変留意し



日本国民党岩国
石本 崇 議員



ている。市としては接種するかどうかの判断ができるよう、正しい情報の発信を行うことが大切と考える。ホームページ等についても、引き続き、市民に正しい情報を分かりやすく発信できるよう、適宜更新していく。



市民クラブ
重岡邦昭 議員



チェーンの見直しによる生産拠点の国内回帰は進み、企業の設備投資は堅調に推移している。この機会を逃がすことなく、岩国錦帯橋空港など交通インフラが備わっている本市の優位性を最大限生かし、企業誘致を力強く展開していく。そのためには、一

岩国市の産業団地整備方針について

問 福田市長は、昨年6月定例会の際、私の質問に対して「コロナ禍からの脱却は進み、社会経済活動が本格化する中、サプライ

定規模の産業団地を早期に確保していくことが重要であり、しっかりと取り組んでいく」と力強く答弁された。ついては、その後の取組についてお聞きする。

答 企業による投資活動が活発化している現在において、本市への企業進出をさらに加速させるためには、一定規模の産業団地を確保することが大変重要であると認識している。産業団地の整備については、県と連携して取り組んでいるところであるが、現時点では時期を含め、具体的な計画を示すことは難しい。引き続き、県と協議・検討していく。

視察報告

議会運営

議員政治倫理条例などを調査

議会運営委員会は、議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会です。定例会の日程や本会議の進行手順を話し合ったり、議会に関するルールについて話し合ったりしています。このたび、議員政治倫理条例など、議会改革について、令和7年1月23日・24日に愛媛県松山市と新居浜市へ先進地視察を実施しました。



議会広報

議会広報先進地の周防大島町から取組を学ぶ

議会広報特別委員会では、令和7年2月4日に周防大島町へ伺い、議会広報編集特別委員会から議会だより改革の取組について視察を実施しました。周防大島町議会だよりの特色として、①ページ受け持ち制による紙面作成②議員自らが町民へ取材③議員の公務実施状況を掲載④専門業者から助言を受けるなどがありました。本特別委員会は、今回の学びを糧に、議会だより作成にさらなる磨きをかけていきます。



岩国大竹道路

岩国大竹道路の工事進捗状況を確認

岩国大竹道路は、大竹市小方から岩国市山手町に至る延長9.8キロメートルの高規格道路です。建設常任委員会が主導して各議員から参加を募り、令和7年2月17日に岩国大竹道路の工事進捗状況について現地視察を行い、(仮称)岩国トンネルと(仮称)室の木インターチェンジについて、国土交通省の担当者から説明を受けました。昨年度は室の木アクセス道路のみの視察でしたが、今年度は完成予定地で、室の木インターチェンジ付近の完成予想図を見ながら詳細な説明を受けることができました。





作品の紹介 & 学校紹介

作品の紹介



写真部の皆さん



撮影風景

私たち写真部は、行事ごとの写真を撮影し、記録をしています。今回は、岩国工業高校の部活動の一つである、科学研修部の活動の様子を撮りました。この写真は、旋盤作業をしているところで、日によってはロボットの部品を削り出したり、技能検定試験の練習をしたりしているそうです。写真部では、今後も各部活動の紹介をしていきたいと考えています。

今号の表紙は、**岩国工業高等学校**に作成してもらいました！

次号の表紙も引き続き高等学校の皆さんに作成してもらいます！

学校紹介

岩国工業高校では、機械科、電気科、都市工学科、システム化学科の4つの科があり、日々専門的な内容を学習しています。また、部活動も活発で、科学研修部やハンドボール部、フェンシング部では、全国大会に出場しています。私たち自身も偉大な先輩方の後を継ぎ、文武両道の精神で、これからも頑張っていきます！

6月定例会

6月5日(木)開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5 開会	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16 一般質問	17 一般質問	18 一般質問	19	20	21
22	23 委員会 (経済・教民)	24 委員会 (建設・総務)	25	26	27 閉会	28
29	30					

※日程が変更となる可能性がありますので、議会事務局までお問い合わせください

編集後記

前号に引き続き、今号も高校生に表紙を作成していただきました。工業高校ならではの活動風景で、高校生たちの将来がとても楽しみです。

さて、本特別委員会は令和7年2月4日に、周防大島町へ赴き、議会だよりの先進的な取組について学んできました。取組を参考にさせていただき、市民の皆様に一層市議会のことを知っていただける広報紙となるよう、今後とも研さんを続けていきます。

【議会広報特別委員会】

委員長：矢野 匡亮
副委員長：野本真由美
委員：川口 隆之
武田伊佐雄
長岡 辰久
広中 信夫
広中 英明
松川 卓司

目の不自由な方へ

いわくに市議会だよりの「See議会」の音声データを希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行／岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5193 FAX(0827)21-1001
編集／議会広報特別委員会 印刷／フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>